



MITSUI & CO.



Wellness Ecosystem Creation

2023年9月21日

三井物産株式会社
代表取締役専務執行役員
中井 一雅

1

中期経営計画2026 Wellness Ecosystem Creation

2

三井物産の目指す世界

3

産業横断的な事業群の事例

4

定量ターゲット

1

中期経営計画2026 Wellness Ecosystem Creation

2

三井物産の目指す世界

3

産業横断的な事業群の事例

4

定量ターゲット

中期経営計画2026 攻め筋 (Key Strategic Initiatives)

◆ 中経2023で注力したStrategic Focusを深化させ、3つの攻め筋を設定



社会課題に対し時間軸を踏まえた最良の現実解を提供

Corporate Strategy - 創る・育てる・展げる (ビジネスモデル) の推進

◆ Own Fieldでの事業強化と事業群形成

社会課題への
産業横断的な現実解の提供

創る
事業の芽を見出す



新事業への継続的な挑戦

育てる
コア事業の拡大



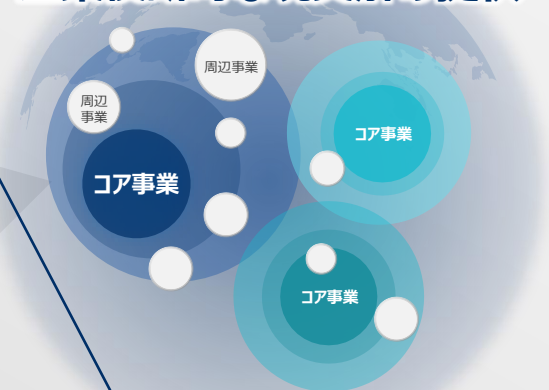
強い既存事業の更なる強化

ひろ
展げる

コア事業と周辺事業を
組み合わせた事業群を形成



事業群・業際取組みの徹底追求



Organic Growthを超えるインパクトのある取組み

1

中期経営計画2026
Wellness Ecosystem Creation

2

三井物産の目指す世界

3

産業横断的な事業群の事例

4

定量ターゲット

環境認識

◆ 食・健康・ウェルビーイングにおけるトレンドに注目

地政学的リスク、グローバルサプライチェーンの変化

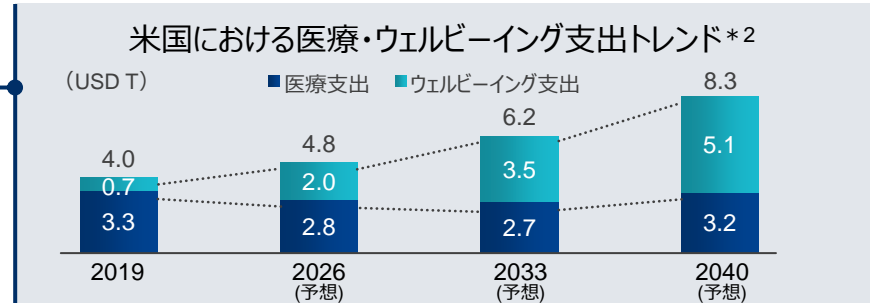
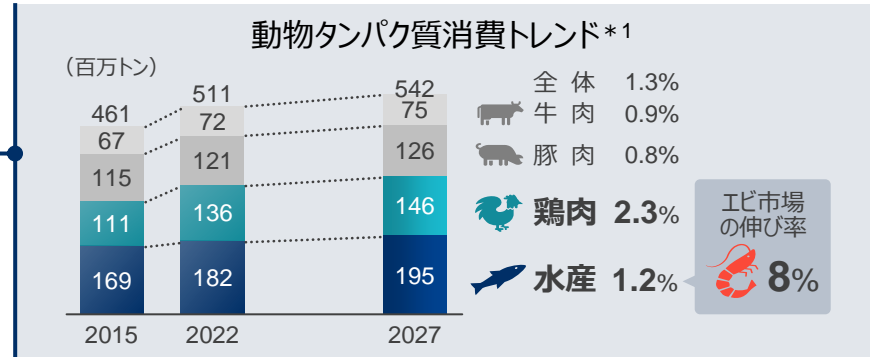
人口増加・経済成長に伴う食の需要増加

安心・安全な食の安定供給への意識の高まり

ライフスタイルの多様化と健康志向の高まり

未病・予防、ウェルビーイングへの関心の高まり

自然資本への意識の高まり

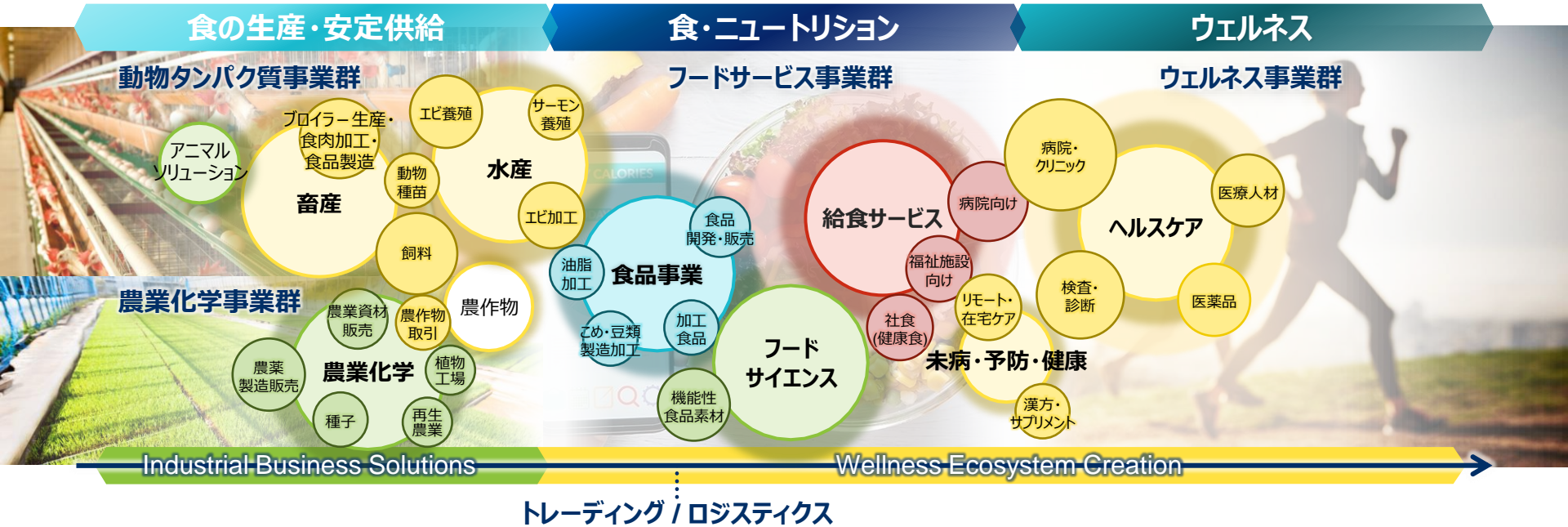


* 1 OECD-FAO; Agricultural Outlook 2017-2018、当社調べ

* 2 Deloitte調査

三井物産の目指す世界

- ◆ 治療から未病・予防、心身の健康も含めたウェルビーイングへのウェルネスの広がりを意識
- ◆ ウェルネスエコシステムの形成を通じ、多様化するライフスタイルに合わせた食・健康・医療を提供し、世界中の人々の生涯にわたる豊かな暮らしの実現に貢献



ウェルネスエコシステムを構成する主な事業群と機能

◆ 事業群と商社機能を組み合わせ、さまざまな付加価値を持つウェルネスエコシステムを形成



1

中期経営計画2026
Wellness Ecosystem Creation

2

三井物産の目指す世界

3

産業横断的な事業群の事例

4

定量ターゲット

農業化学事業群

- ◆ 農業の生産性向上と環境負荷の低減により、食料安定生産に貢献
- ◆ 生物農薬、種子、バイオスティミュラント等を通じて自然資本に配慮した農業の実現を目指す
- ◆ 再生農業や植物工場等、新たな農業ソリューションとの組み合わせによる農業化学事業群の拡大



動物タンパク質事業群

- ◆ 飼料・アニマルソリューション事業、動物種苗事業、畜水産事業の三位一体で長期的・連続的な価値向上を推進
- ◆ トレーサビリティ・生産性と品質向上・安定供給を実現する事業群を形成



フードサービス事業群 × ウェルネス事業群

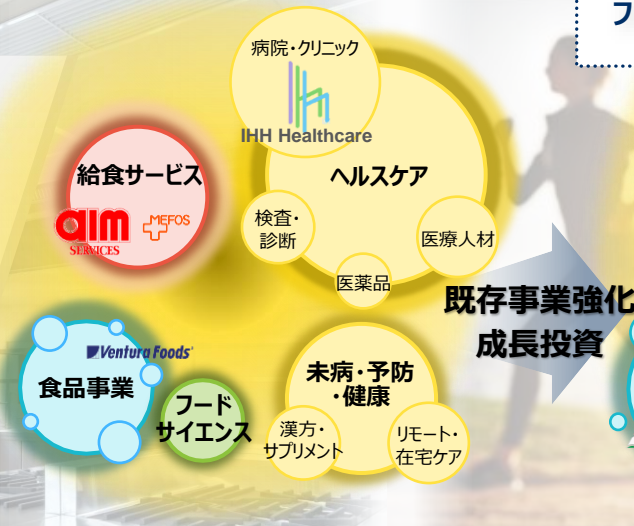
- ◆ ウェルネス事業群でのコアであるヘルスケア事業や、未病・予防・健康事業を中心としたウェルネスソリューションの提供
- ◆ フードサービス事業群を通じた健康増強や病気等からの回復の支援等、豊かな生活・ウェルビーイングの実現に貢献



23/3期
実績

当期利益

約**370**億円



26/3期
目標

当期利益

500+億円



1

中期経営計画2026
Wellness Ecosystem Creation

2

三井物産の目指す世界

3

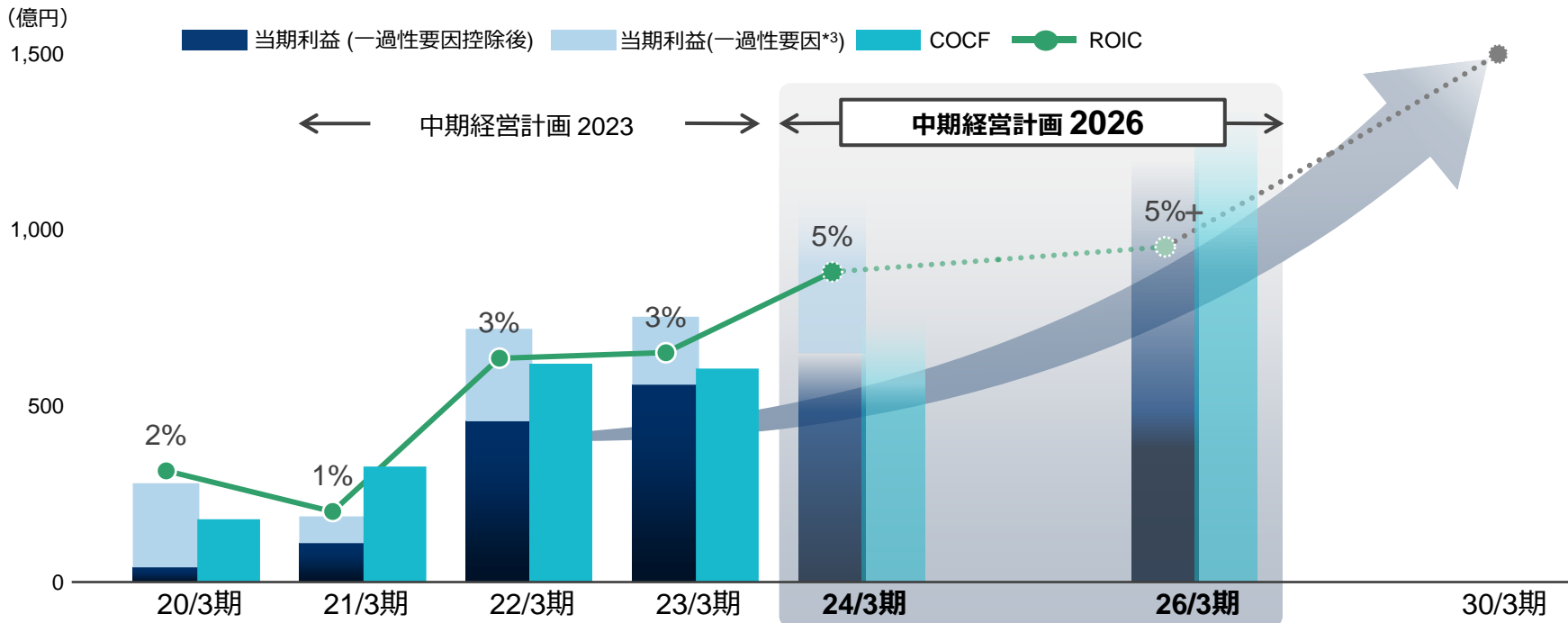
産業横断的な事業群の事例

4

定量ターゲット

定量ターゲット*1

◆ 事業群の強化、ウェルネスエコシステムの形成により、収益力・ROIC*2の継続的な向上を目指す



*1 Wellness Ecosystem Creationに、Industrial Business Solutionsの食の生産・安定供給に関わる事業を含む

*2 社内ROICの定義（分母：投下資本、分子：当期純利益）に基づき算出

*3 資産リサイクル、評価性/特殊要因による損益

360° business innovation.



MITSUI & CO.